

WMS レイヤのラスタへのレンダリング

ご存知でしたか?... グループ表示で、ウェブマップサービス (WMS) レイヤから様々なファイル形式の画像ファイルを作成できます。

WMS レイヤをラスタにレンダリングすることで...

- WMS のサービス休止に左右されない静的な画像ファイルが作れます。
- 様々な画像ファイル形式から選択できます。
- ジオリファレンスファイルを自動的に保存できます (*.kml、*.pgw、および *.prj ファイル)。
- 作成するラスタのセルサイズを設定できます。

リストから任意のファイル形式を選ぶと、選択したファイル形式の画像ファイルと付随するジオリファレンスファイルがあれば作れます。

WMS レイヤは、表示ウィンドウのズームレベルに関わらず、最大範囲で画像ファイルにレンダリングされます。作成された画像ファイルは、Google Earth を含む他のプログラムで利用できます。

作成した KML ファイルを使って画像を Google Earth で表示できます。

WMS レイヤをラスタにレンダリングする方法

- [表示>レンダリング>ラスタ (Display/Render to/Raster)] を選択し、<ラスタにレンダリング (Render to Raster)>ウィンドウを開きます。
- [フォーマット (Format)] メニューから作成する画像のファイル形式を選択します。
- 必要に応じて、画像サイズ、セルサイズ、背景色のデフォルト設定を変更し、圧縮タイプを選択します。
- [OK] ボタンをクリックします。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください。空間データの表示:

WMS レイヤを選んで表示する
(Select WMS Layers for Viewing)

